

発行日 平成12年3月31日
 発行者 江別市生涯学習推進協議会
 編集人 広報小委員会(山岸 肇)
 連絡先 江別市教育委員会生涯学習担当
 <高砂町24・381-1062>

第5回生涯学習フェスティバル

異なることは美しい

国際交流弁論大会おわる

1月22日



弁論、審査も無事終了。国際交流の輪がますます広がりますように！

去る一月二十二日(土)市民文化ホール(えほあ)にて、国際交流とまちづくり・私の提言のテーマで、第五回生涯学習フェスティバルえべつ「国際交流弁論大会」が開催されました。
 生涯学習フェスティバルは楽しい生涯学習の場として毎年回を重ねています。江別市民及び外国人市民から三十二編の応募があり、審査の結果十四名の弁論者が決定。当日をむかえました。十代から八十代、七ヶ国の方々、内容もまさに国際的で豊かなものでした。
 日本人が外国の生活で得た

価値感や文化の違い。外国人から見た日本の習慣・マナーの違和感や欠点。日本の文化伝統を日本人自身大切にしていますか？との問いかけを聞き、国際的視点に立つ事の必要性を痛感しました。
 中でも日本人の喫煙マナーに関しての二名の方の弁論には説得力を感じ、時、同じくして、江別市の庁舎内における喫煙対策(喫煙コーナー設置)が実施され、エリを正す思いです。
 アトラクションでは力強い北海若衆太鼓が響き渡り、会場から大きな拍手が起こりました。

審査委員長
 長谷川幸雄氏の
 講評の後、いよいよ審査結果発表。フェスティバル大賞は日沼麻美さん、国際交流推進賞は艾尼互尔・艾山さ



今年90歳。言葉に重みを感じます。

ん、生涯学習推進賞は北野佳澄さんに決定しました。
 物質文明に慣れすぎた日本への提言の数々でした。
 「私達若者はどうしても都会の華やかさや人込みを求めてしまいがちですが、自然があつてこそ私達の命の営みがある事を知ることができると思っています。私達は、原始林に親しむ中で、心の穏やかさや共に生きることの大切さを学べるように思います。」
 私、誇り、日沼麻美

階総合案内窓口に配布してあります。
 ぜひ手に取って下さい。

この度、盛況のうちに閉幕した国際交流弁論大会の集録を発売しました。
 ページを開くと豊富なカラー写真が収められ、当日の緊張感や熱のこもった弁士の声、聴衆の拍手が聞こえてくるようです。
 大会プログラムにそって十

四名の発表内容が収められています。
 外国人弁論者の、ジェスチャーを交えた姿を映像でお伝えできないのが残念な程です。
 集録は各公民館と江別市役所本庁舎一

異なることは美しい
 一覽からの出典

江別市生涯学習推進協議会



ワタシハドイツカラキマシタ。エベツガダイスキデス。

日々楽しむ私の生涯学習

アルペン競技



本間克彦さん

あなたにとって一生楽しみたいことは何？と聞かれると迷わず「スキー」と答えます。

スキーといっても、私の場合、アルペン競技スキーを指しますので、一般の方々には、あまり馴染みのないスポーツかもしれません。ここ数年は仕事の関係（冬場に繁忙期を迎える）で、ほとんどスキーをしていませんが、ビデオや雑誌を眺め乍ら、知識と理論だけは一流スキーヤーを気取り、丘サーファーならぬ、丘スキーヤーとなつてしまっています。おまけに、ウィスキーの回数がやたら増えてしまつて、このままでは、競技スキーどころか、スポーツとは無縁の体となつてしまふのではないかと心配しています。

実際競技スキーは、けっこうきついスポーツなので、せいぜい50才代位までしか続けられないのかなあ、などと半ば諦めかけていたのですが、社会人のクラブチームに参加させていただき、年令や技術に関係なく楽しんでいる姿を見てみると、長く続けていきたい気分がさせられます。

昨年、全日本スキー連盟で「マスターズ」というカテゴリーが新たに誕生し、各地で大会が催されている様です。先日自宅に、世界マスターズに出場するツアー募集の案内が届く等、自分では密かに夢を膨らませています。

ただ、時間やお金といった問題や、休日の毎にスキーに出かけて家族からの冷たい視線に耐えるといった数々の障害を乗り越えていかなければなりません。これでは生涯学習ではなく、障害学習となつてしまふのではないのでしょうか。前途多難です。

（青年会議所会員）



親子で歩くスキー初体験

楽しみながら…

私が「学ぶ」という事に興味を持ち出したのは、恥ずかしながらつい数年前からです。それまで暇な時は、テレビを見るなど時間潰しの様な時間の使い方をしていましたが、もっと有効に使ってみようと思つたのです。どうせやるなら、自分に身に付く事をしようと思ひ、取り敢えず、興味を持った事に手を出してみる事にしました。



梁瀬麻衣さん

「何かをやるう」そんな漠然とした思いで始めた英会話。その頃は、「旅行にちよつと使えるくらい」の英語を身につけよう」だったはずが、

いつのまにか「日本以外での生活を体験したい」「もっとたくさん国の人と交流を持ってみたい」という壮大な夢にまで発展してしまいました。事の起ころは江別国際センターの

そこで始めたのが、習字と英語です。どちらも、初挑戦に近い事です。筆を持つのは小学生以来、英語を話すのは高校生以来。

習い初めは、結構楽しく学んでいましたが、欲が出て来ると、上達の遅さに苛立ちを感じ、自分の能力の無さに悩まされ、「もう止めようか」と思う様になりました。

その事を母に話すと、母は、「趣味で始めたのだから楽しんでやりなさい。別に今から通訳を目指す訳でもないし、

未知の世界へ

ベキューをしたりと楽しんでいました。そして1年後、英語や人との交流の楽しさを教えてくれた先生とのお別れがあり、反対にたくさんのお出会いはもあり一気に私の世界は広がりました。なかでも「江別世界市民の集い」の副実行委員長になったことはとても大

初級英会話でした。陽気な先生と様々な年代のクラスメイト達との英語のレッスン。英語の上達というよりは、先生やほかの人々との交流が楽しみで毎週通っていました。半年後そのまま「SALAD」というサークルを作り、英会話やお菓子を作ったり、バー



岸 若世さん

達人に為る訳でもないのだから、あまりむきに為る事無いでしょう。大切なのは続ける事だよ」と言ってくれました。いつの間にか楽しく学ぶという気持ちも忘れていた自分に気が付きました。

今は、英語は週一回大塚のハイセンスターで、たどたどしい英語を話しながらクラスきな出来事でした。国際交流を目的とした様々な団体が集まり、「集いの成功」という目的のために、みんなが同じ目線で半年間活動したことは、大変でしたが私の大きな経験と財産になりました。

知らなかった大きな世界が、自分の中に広がっています。それはとても魅力的なものです。どこまで行っても目の前には大きくて長い道があり、1歩進むたびに私に様々な経験をさせてくれます。いつのまにか私はいつまでもこの「国際交流」の道を歩き続けたと思うようになりました。

「さあ、次は何をしようか」（江別市民国際交流協会）

の皆さんとユーモアな先生方と一緒に楽しんでおります。

習字は毎日書く事を心掛けているが、机の上に筆と墨を置いて、時間の空いた時にいつでも練習できる様にしております。

どちらも、まだまだ学習不足ですが、母の言った「大切なのは続ける事」の一言を忘れずに楽しみながら学び続けるつもりです。

3 B 体操江別サークル

佐藤ひとみ (代表)



活動をしていますが市民の皆さんに知って頂く機会があると愛好者も増えるのではと常日頃思っています。
又、現在の参加者は成人女性ばかりで淋しいので、将来的には成人男性やお子さん達にまで対象者を広げられれば良いと思います。

この度新しく協議会の仲間に入れて頂きました日本3B体操協会です。3B体操とは耳慣れない方が殆どだと思いますので紹介をさせて頂きます。

ボール (Ball)、ベルター (Belter... ヨニール製のベルト)、ベル (Bell... ヨニール製の8の字型の空気袋) の3つの手具を使う事から頭文字をとって3B体操といえます。

また、重さを利用した動きを目で追うことで視神経、運動神経を刺激しバランス感覚を養います。

ベルの場合は、空間、クッションを利用して、呼吸運動や筋肉運動を行い、その軽さを利用して、失われた機能を回復し、歪みのない全身運動を誘導します。

去る3月10日(金)野幌公民館で「生涯学習指導者養成講座」が開催され、市内の団体やサークルの代表やリーダー70名が、

「65才以上の人口が14.95%になりました。」
また講師は受講生の4割が高齢者ということもあり、個人が輝くか、老いるかの分れめは、一人一人が常に地域と接点を持ち、自分の学習したことを、若い世代に還元していくことが大切と話されました。

「健康で美しく」

健康で美しく

その解消になる普段着の体操です。それぞれの手具は扱う楽しさもありますが、運動効果を助ける補助道具としての役目もあります。

例えばボールは、まるみ、ころがり、はずみを利用し、脊椎に刺激を与え内臓を強化

ベルターは使う一人一人の筋肉の柔軟性に合わせ、適度な伸び縮みを利用し、関節の可動域をひろげ、全身を整えます。

江別市内ではサンワークとコミセンの2つのサークルで

自分の庭をつくるように江別のまちづくりを考えるのと、意外と夢を持てるのではないのでしょうか？

「健康で美しく老いる」をスローガンとし、幼児から高齢者まで3世代で共に動き、運動嫌いな人にも楽しく続けられるように、レクリエーション的要素を多く取り入れ、心と体を動かすことに工夫を凝らしています。

例えばボールは、まるみ、ころがり、はずみを利用し、脊椎に刺激を与え内臓を強化

ベルターは使う一人一人の筋肉の柔軟性に合わせ、適度な伸び縮みを利用し、関節の可動域をひろげ、全身を整えます。



「生涯学習のまちづくり」について道女子短大教授 谷川幸雄さんを講師に招き学習しました。

生涯学習社会といわれる今日、日本中の

この人おススメ!



加藤ミチ子さん

みなさん、「読み語り」というのを知っていますか。その名のとおり、物語を朗読して聞かせてくれるのですが、先日、市の高齢者大学で講演をした、加藤ミチ子さんは既製の物語でなく、オリジナルの物語を脚本化して聞かせてくれました。

ストーリーは、炭坑を舞台に苦難を乗り越えていく家族の愛を描いたもので、笑いあり涙あり、歌や踊りも交えてのお話でした。

この加藤さん、これ以外にも手持ちのストーリーがいくつもあって、客層や季節等に合わせてアレンジをしてくれるそうです。学校の行事、自治会やサークルのパーティーや忘年会等でお願ひしてみたいかがでしょう。

〔問合せ先〕383-7239 (自宅)



これからの社会は、余生から与生か…?

私の宝物

浮世絵と思い出

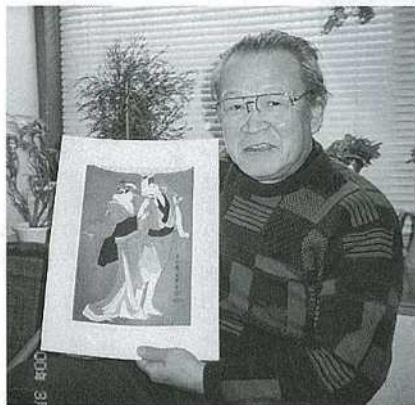
村山 貢

長い教師生活の中で、子供達に「本物」を見せてあげたいと思い、「先生の命の次に大切なものだぞ。」「いいか、汚すな。息かけるな。」と

油絵を学ぶようになってから、浮世絵はすでに百年以上も前にヨーロッパに渡りニッポンブーム（ジャポニズム）を引き起こしていたことを知りました。

給料が安い駆け出しの頃、家内に相談せず『写楽の昭和の手刷り』四〇枚セットを買いました。一枚一枚手に取っては、一人でニヤニヤしながら悦に入ったものでした。

浮世絵を初めて見たのがいつであったのか記憶も定かではありません。しかし、子供ながらに日本独特の絵画であり、「すごいなあ。」「本物だ！」と感動した浮世絵との出会いがありました。



巨匠ゴッホにあやからうとしましたが果たせず、今、思い出と共に浮世絵は私の大切な「お宝」になっているのです。（市内錦町39の1）

そっと手渡すと息をひそめ、大切に写楽を見入っていた子供達の瞳が今も思い出として浮かびます。

イベントあれこれ

ガイドブック No. 5

発行 予告

当協議会では、市民の生涯学習活動をサポートしようと同様で情報提供をしてきました。特にこのガイドブックは過去4号発刊し、多くの市民に有効活用されてきました。

さてNo.5をつくるにあたり、我々広報委員は大いに頭を悩ませました。「これまでと同じ内容でいいものか。」とりわけ前号No.4は、団体・指導者の情報量が多く、内容に大幅な変更が無ければ、この時期（一年後）に改めて作る意味がない。「このコンピュータ時代に、情報を本にすることに限界を感じる。」確かにものすごいスピードで変化

ここに登場するイベントは、人々が日々の活動の成果を発表する、いわば「晴れ舞台」ばかりです。そして、将来的にも継続して行われ、開催時期等にも大幅な変更がないものばかり。だから、何年も色々と楽しい原稿をお寄せ下さい。



おまつり大好き!! (大麻市民まつりより)



飛鳥山公園(あずかやまこうえん)

今年5月から新しいスポーツエリアが誕生します。旧陸上競技場部分が整備され、芝生広場、750m延長した園路、あずまや、野外テーブル、ベンチ、トイレ、駐車場が設けられました。

新装のグリーンボールコースも併せて春のスポーツシーズンから利用できます。

冬期間はクロスカントリーコース、チビ子スキー場にも利用できるように想定しています。

市民の皆さんの憩いの場として、ぜひご利用下さい。利用ご希望及び問い合わせは、市教委教育部スポーツ課（☎381-1061）もしくは青年センター（☎383-1221）まで。

所在地/緑町西2丁目11番地
1956年 開設



編集後記

「ら・ら・ら」16号いかがでしたか?この情報紙は皆様の声をお待ちしています。体験談やイベント紹介、ご近所の有名人、江別見どころ食べどこ

また加入団体のアピールやメンバー募集もOKです。お気軽に事務局へお問い合わせ下さい。(事務局)江別市教育委員会内 ☎381-11062

希望者には公民館等で無料で配布しますので、手に入れて皆さんのイベントに足を運びましょう。詳細は、事務局(教育委員会内) ☎381-11062まで